

令和4年(2022年)5月20日

農作物生育・技術情報1号

日高農業改良普及センター日高西部支所
JAびらとり JA門別町

1 水稲の生育状況 (5月15日現在)

●生育状況調査 (中苗: ななつぼし)

区分	草丈 (cm)	葉数 (葉)	茎数 (本/m ²)	遅速 日数	摘要
R4年	10.4	2.7	—	±0	生育は平年並み
平年値	10.6	2.8	—		
差	-0.2	-0.1			

(1) 育苗管理

- ① 葉数2.5葉期以降にハウス内温度が25℃を超えると、早期異常出穂(不時出穂)が発生しやすくなるため、育苗後半の温度は高温になりすぎないように管理しましょう。特に成苗ポットは温度上昇しやすいので特に注意が必要です。
- ② 移植時の目標葉数は、成苗(ゆめぴりかで3.6~4.0葉、ななつぼしで3.6~4.3葉)、中苗箱マットは3.1葉から移植しましょう。
- ③ 育苗後半は、降霜、強風に注意し、夜間も解放するなどハウスの換気を十分に行い、苗の充実と硬化に努めましょう。
- ④ やむをえず育苗日数が長くなる場合(成苗、中苗とも、は種から移植までの日数が35日以上になる場合)は、老化苗対策として必要に応じて追肥を行いましょう。

(2) 移植

- ① 植付深を必ず確認し、深さが1.5~2.0cmになるよう調節し、苗の活着と分けつを促進させましょう。
- ② **活着や分けつの善し悪しは水温に左右され**
活着限界温度は11~13℃とされています。水温を確保するために入水は夜間から早朝に行い、日中は止水にしてください。
- ③ 低タンパク米生産に向け、栽植密度は中苗25株/m²以上、成苗22株/m²以上としましょう。

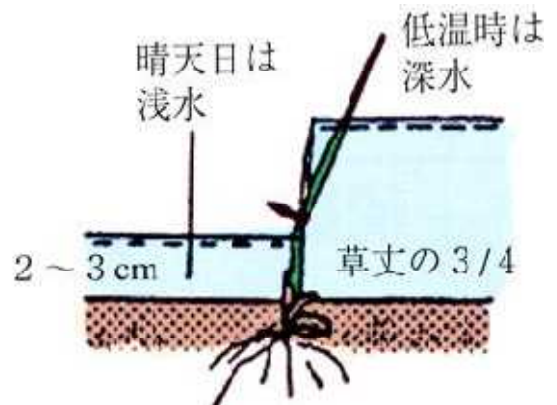


図 水深の目安

2 畑作物の栽培管理

- (1) 秋まき小麦の止葉期追肥は粒重、タンパクの充実に重要になります。

【施肥窒素量】「ゆめちから」

止葉期追肥量目安: 6 kg/10a (硫安30kg/10a)

※上位茎数が900本/m²を超える場合 → 4 kg/10a程度に抑える

- (2) 豆類: は種作業

地温10℃以上確保でき、降霜の恐れがなくなったらは種時期です。晩霜に注意し適期は種に努めましょう。

3 主要野菜の生育状況と技術対策

生育状況や草勢にあわせた追肥とかん水管理をしましょう。

作物名	生育状況(5月15日現在)	技術対策
トマト	3月定植 ・1～2段果房収穫中。6～7段開花 ・かいよう病、株腐病が一部で見られる。 ・着色不良果(黄変果)が見られる。 4月定植 ・4～5段花房開花中。	・かいよう病、株腐病が発生した株は、速やかに抜き取り処分する。
ハウス軟白ねぎ	・12月定植収穫中。 ・生育は順調である。	・育苗期から防除を行い定植ハウスへ病害虫の持ち込みを防ぐ。 ・粘着板を設置し早期防除に努める。 ・ハウス内外の除草(タネホ、白加バなど)を徹底する。
ハウス立茎アスパラガス	・春芽収穫～立茎移行期。 ・病害虫の発生は特になし。	
かぼちゃ	・定植準備～定植中。	・地温を確保するため、施肥およびマルチの被覆は、定植7日前までに行う。 ・定植ほ場の地温は、深さ15cm程度で最低15℃以上を確保する。

4 牧草生育状況(5月15日現在)

作物名	生育状況			遅速日数	摘要 (作業期節・特記事項)
	項目	R4年	平年		
牧草(苜蓿)	草丈(1番草)	30.1cm	30.9cm	-1	生育は平年並です。

5 サイレージ用とうもろこし作業状況(5月15日現在)

作物名	農作業状況			遅速日数	摘要 (作業期節・特記事項)
	項目	R4年	平年		
とうもろこし100日クラ	は種始	5月4日	5月13日	+9	は種作業は早く進んでいます
	は種期	5月11日	5月19日	+8	

春先の好天により、とうもろこしのは種が平年より早まっています。ほ場条件や発生雑草等を把握し、早めに土壌処理、雑草茎葉処理などの用途にあった除草剤を選定し、計画的・適切に使用しましょう。

<代表的なサイレージ用とうもろこし除草剤の使用法・時期>

商品名	使用方法	使用時期	10aあたり使用量
モーティブ乳剤	土壌処理	は種後～2葉期まで	200～400ml
ゲザプリムフロアブル	土壌処理	は種後～出芽前	100～200ml
	茎葉処理	2～4葉期	100～200ml
ゲザノンゴールド	土壌処理	は種後～出芽前	140～200ml
	雑草茎葉処理	2～4葉期	140～200ml
アルファード液剤	雑草茎葉処理	3～5葉期 (イチビは6～7葉期)	100～150ml 150ml
ブルーシアフロアブル	雑草茎葉処理	3～5葉期	40～50ml
		(イチビは6～7葉期)	50～75ml